



内容解説資料

中学音楽



中学器楽



INDEX

バランスのよい学習を旨として	2
音楽科の学びを支えるカリキュラム「学びのユニット」	4

中学音楽の特色

① 学習の見通しがもてます

主体的・対話的で深い学び うたう	6
きく	8
つくる	10

② 音楽文化の理解が深まります

わが国や郷土の伝統音楽	12
共通性と固有性	14

③ 音楽を愛好する心情を育てます

わが国の自然や四季の美しさ	16
ワイドなビジュアル図鑑	18

学習を支える「まなびリンク」	20
歌唱教材曲一覧	21
カリキュラム・マネジメントを踏まえた 学びのユニットについて	22
年間指導計画	24
評価計画	26

中学器楽の特色

① 学習の見通しがもてます

主体的・対話的で深い学び	28
--------------	----

② 音楽文化の理解が深まります

くちしょうが 口唱歌(唱歌)／深い学び(共通性と固有性)	30
---------------------------------	----

③ 音楽を愛好する心情を育てます

見やすい資料とメッセージ	32
--------------	----

カリキュラム・マネジメントを踏まえた 学びのユニットについて	34
指導計画・評価計画	36

安心して学ぶために — 特別支援の観点とユニバーサルデザインの取り組み —	38
SDGs(持続可能な開発目標)に向けて	39

教師用指導書・デジタル教科書等のご紹介	40
---------------------	----

計画的に学習を見通し、 学ぶ意味やおもしろさに気がつきます

これからの音楽科の授業のために

新しい学習指導要領に示された「主体的、対話的で深い学び」を旨とし、
教育出版社は表現と鑑賞の学習のバランスに配慮しました。
そして学習内容の関連を図ることで、音楽の学びを計画的に見通すことができましたようにしました。



これらの実現をめざす
教育出版社の教科書には、
三つの特色があります。

特色 ①

学習の見通しがもてます

特色 ②

音楽文化の理解が深まります

特色 ③

音楽を愛好する心情を育てます

バランスのよい学習を目ざして

教育出版の教科書は、音楽的な見方・考え方を働かせて主体的に学ぶことと、表現を工夫したり聴きとったりしたことを話し合うなど、協働的に学ぶことを重視しています。その具体的な学習活動例として、表現及び鑑賞の冒頭に『ACTIVE! すすんで学び合おう』ページを配置しました。

④ **比べてみよう** では **主要教材** で学んだことを生かして、より確かな学びとなるように教材を設定しました。
 ⊕ **深めてみよう** ではさらに必要に応じて、**主要教材** や ④ **比べてみよう** の学びが深められるように教材を設定しました。

うたう 歌唱

つくる 創作

きく 鑑賞

ACTIVE! すすんで学び合おう

主要教材 各主要教材(1年)につきましては、本紙p.5をご参照ください。

⊕ 深めてみよう

④ 比べてみよう

ACTIVE! 青空へのぼろう 6
 ⇄ アニー・ローリー 10

夏の思い出 14
 ⇄ 赤とんぼ 16
 明日を信じて 20
 ⇄ 飛び立とう君の空へ 22
 あの丘の向こうから 26
 ソーラン節 28
 ⇄ かりぼし切り歌 29

ACTIVE! 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう 32

全体の構成を考えながら音楽をつくろう 34

ACTIVE! 「春」第1楽章 38
 ⇄ 「秋」第1楽章 43

魔王(シューベルト) 44
 ⇄ 魔王(ライヒャルト) 45
 箏曲「六段の調」 48
 ⇄ 尺八曲「鹿の遠音」 51
 日本とアジアの声によるさまざまな表現 54

④ 歌うための準備 12
 ④ 言葉の発音について 19
 ④ 指揮をしてみよう 21
 ④ 変声と混声合唱 24

⊕ 希望という名の花を 56
 ⊕ この道 58
 ⊕ 谷茶前 59

④ 全体の構成を理解して表現を楽しもう
 くいしんぼうのラップ 36

ACTIVE! すすんで学び合おう 活動例のページ

⇄ 比べてみよう
 ⊕ 深めてみよう

日本の歌 みんなの歌 歌唱共通教材
 音のスケッチ 創作のページ
 鑑賞教材

Let's Sing!
 歌うためのワンポイント・アドヴァイス

Let's Try!
 声や身近な楽器を取り入れた活動のページ

④ 箏(こと)を弾いてみよう
 さくらさくら 52

何が同じで、何が違う? 60

⊕ 弦楽合奏のセレナード 第1楽章 61
 ⊕ 野ばら 62
 ⊕ 日本とアジアをつなぐ音 63

中学音楽 1 目次

学びのユニット 4

どんな特徴があるかな?
 きらきら星変奏曲 64

学習資料

夏の思い出 巻頭
 作者の思いにふれる 口絵②
 郷土のさまざまな民謡 30
 発展「音」ってなあに? 66
 リコーダー運指表/コードネーム表 67

楽典 84
 郷土の民謡に用いられる楽器 口絵③
 弦楽アンサンブルに用いられる楽器 口絵④
 日本とアジアのこと 巻末

発展 中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したいときには取り組んでみましょう。

歌のアルバム

海が明けるよ 68
 夢は天空を駆ける 70
 君と歩こう 72
 心をこめて 74
 ほらね、 76
 全校合唱 故郷(同声二部合唱) 80

(国歌) 君が代 82

まなびリンク
 学習に役立つ情報を、ウェブサイトで見ることができます。
<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh/ongaku/1.html>

情報の種類 見る 聴く 記録する

音楽科の学びを支えるカリキュラム

「学びのユニット」

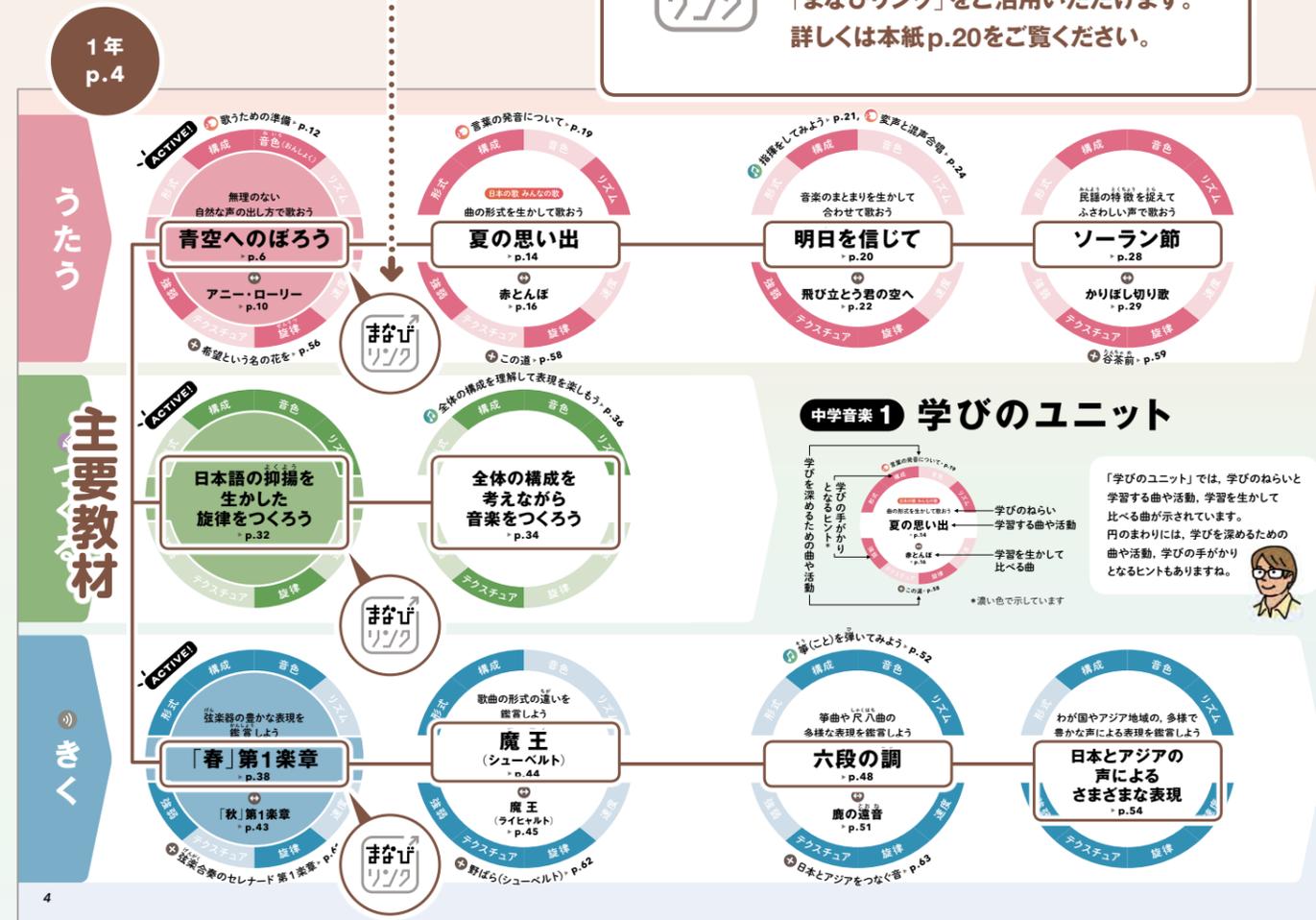
生徒の興味を喚起し関心を高めるとともに、主体的に協働的に学ぶことができるよう、教材の配列を工夫して、学習内容の関連を図りました。全学年を通じて**学びのユニット**として示しました。

1年 学びのユニット

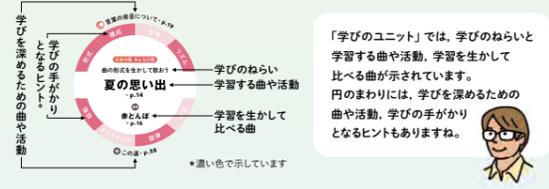
「学びのユニット」では、学びのねらいと学習する曲や活動、学習を生かして比べる曲が示されています。円のまわりには、学びを深めるための曲や活動、学びの手がかりとなるヒントもありますね。



学習に役立つ情報を集めた教育出版のウェブサイト「まなびリンク」をご活用いただけます。詳しくは本紙p.20をご覧ください。



中学音楽1 学びのユニット



学びのユニットQ&A

- Q** 主要教材のみを使った学習はできますか？
- A** はい、できます。
「主要教材をじっくり学ばせたい」といった学習への変更は可能です。
- Q** 「比べてみよう」「深めてみよう」は入れ替えたり変更したりできますか？
- A** はい、できます。
生徒や学校の実態に合わせたカリキュラム・マネジメントが可能です。
- 主要教材の配置 (歌唱表現の場合)
「青空へのぼろう」…歌唱活動の導入
「夏の思い出」…歌唱共通教材
「明日を信じて」…合唱活動の導入
「ソーラン節」…わが国の伝統的な歌唱
- 本紙p.22 カリキュラム・マネジメントを踏まえた学びのユニットについてとp.24 年間指導計画をご参照ください。

中学音楽の特色

① 学習の見通しがもてます

うたう
歌唱

主体的・対話的で深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、進んで学び合う活動が展開できるように工夫しました。自分の考えなどをまとめ「話し合おう」によって協働的な活動が展開できるように工夫しました。



教材のイメージを生かしたカラフルな表紙…1年は緑、2・3上はオレンジ、2・3下は青。それぞれのタイトルカラーを用いてはっきりと色分けしました。また、用紙の紙質は強固で、しっかりとしたつくりになっています。

ACTIVE! すすんで学び合おう

1年 主要教材「青空へのぼろう」の場合

1年
p.8

青空へのぼろう **ACTIVE!**

声の出し方や発音、歌う姿勢を身に付けてほしい。

強弱や音域に合わせた歌い方を身に付けてほしい。

マーチのように

1 みんなでいこう どこまでもいこう あお
2 みんなでうたおう こえあわせうたおう あお

F Dm7 G7 C Am

みん な で い こ う ど こ ま で も い こ う あ お
みん な で う た お う こ え あ わ せ う た お う あ お

V (プレス)…息つき

1年 p.6

アニー・ローリー **ACTIVE!**

強弱や音域を意識して表現してほしい。

Moderato

1 (R) し の ア ニー ローリー い き ま く し く
2 (R) の ほ ろ う と み は き ま く し く

C F C/G G7 C V

1年 p.10

ACTIVE! 青空へのぼろう

「青空へのぼろう」を次の①～④の四つに分けたとき、それぞれの似ているところや違うところなどを確かめ、気がついたことを楽譜に記入しよう。

① 似ているところ

② 違うところ

話し合おう ①は、②や③とどんな関係にあるの？ 歌ったときの印象も含めて、感じたり気がついたことをまとめ、交流しよう。

④は、①や③とどんな関係にあるの？ 歌ったときの印象も含めて、感じたり気がついたことをまとめ、交流しよう。

「青空へのぼろう」はどんな構成になっているか説明してみよう。また、構成を生かして、どんな表現の工夫ができるのか、考えてみよう。

強弱記号や音の高さも意識して、声の出し方なども工夫してみよう。

8 9

🔄 比べてみよう

「アニー・ローリー」と比較して表現することで確かな学びへ向かいます。

「青空へのぼろう」の構造を理解し表現を工夫するページが続きます。

① 学習の見通しがもてます

大きく鑑賞

主体的・対話的で深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、進んで学び合う鑑賞の活動が展開できるように工夫しました。聴き取ったり感じ取ったりしたことを「話し合おう」によって協働的な活動が展開できるように工夫しました。

ACTIVE! すすんで学び合おう

2・3下 主要教材「ブルタバ(モルダウ)」の場合

聴き取ったり
気づいたりしたことを記録して、
対話的な活動につなげます。

ブルタバ(モルダウ)

速作交響詩「我が祖国」から
スメタナ 作曲

「ブルタバ(モルダウ)」は、作曲家スメタナの祖国チェコに対する思い、ブルタバ川の様子や流域の情景などに託して、音楽で表現しています。川の流れるとともに移り変わる情景を、どのようにオーケストラで表しているのかを、作曲家の思いを感じ取りながら聴いてみましょう。(p.30「この曲に寄せる作曲家の解説」参照)。

プラハの街を流れるブルタバ川



現在のヨーロッパ地図

「ブルタバ(モルダウ)」が描くさまざまな情景

ブルタバの二つの水源

フルート (最初の水源)
Allegro comodo, non agitato (適度に速く、激しくしない)



クラリネット (第2の水源)








フルート クラリネット

聴き取ったり気づいたりしたことを記録しておこう。

2・3下 p.26

古代
中世
ルネサンス
バロック
古典派
1824
スメタナ
1884
近代・現代

ブルタバの主題

第1ヴァイオリン、オーボエ



第1ヴァイオリン、オーボエ



第1ヴァイオリン、クラリネット



フルート

水の音の語り



第1ヴァイオリン、オーボエ

金管楽器、チェロ、コントラバス、打楽器 (銅鑼はホルン、チェロ、コントラバス)



聴き取ったり気づいたりしたことを記録しておこう。

2・3下 p.28

交響詩「フィンランディア」

シベリウス 作曲

シベリウスが作曲した「フィンランディア」は、フィンランドの独立運動の精神と深く関わっています。この曲には、後に「フィンランディア賛歌」として有名な部分があります。楽曲を大きく四つに分け、それぞれの曲想を感じ取り、作曲家の思いを想像しながら鑑賞してみましょう。

感じ取った曲想とその変化をまとめながら鑑賞してみましょう。

冒頭部

Andante sostenuto (ゆっくりとした速さで、上半身は揺らぐ)



トロンボーン
チューバ

トランペットなどのファンファーレが始まる部分

Allegro moderato



トランペット

後に「フィンランディア賛歌」となる部分



オーボエ

曲の終わりの部分



トランペット
ホルン

チューバ

聴き取ったり気づいたりしたことを記録しておこう。

音楽の表現とフィンランドの独立を願ったシベリウスの思いなどについて発表し交流してみよう。



ジャン・シベリウス (1865-1957)

2・3下 p.31

比べてみよう

スメタナと同じ国民楽派、シベリウスの交響詩「フィンランディア」と比較鑑賞することで確かな学びが期待できます。

8

9

① 学習の見通しがもてます

つくる
創作

主体的・対話的で深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、
進んで学び合う創作の活動が展開できるように工夫しました。協働的な活動によって、
イメージを共有したりイメージに合った音楽をつくったりするように工夫しました。

1年 全体の構成を考えながら音楽をつくろうは、
5～6人のグループで表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表し、
イメージに合った音楽をつくっていきます。

p.34 に続けて、声や身近な楽器を取り入れた活動のページ
Let's Try! 全体の構成を理解して表現を楽しもう
「くいしんぼうのラップ」を表現することで、
構成、リズム、テクスチャの学習をさらに深めることができます。

全体の構成を考えながら音楽をつくろう

はじめに 日本語には、自然や動物、物などが発する音や、様子を表す言葉がたくさんあります。

活動1 5～6人のグループになり、表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表してみよう。

活動2 「活動1」で表した言葉をカードにして、繰り返し重なり合せてテーマを表現してみよう。

活動3 テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくろう。始め方と終わり方も工夫しよう。

ストーリー

構成図

セツと楽しセ? もう一度、簡単なストーリーや集めた言葉を検討し、
交流したことを参考に作品をつくり直してみよう。

1年
p.34

Let's Try! 全体の構成を理解して表現を楽しもう

くいしんぼうのラップ

和田 崇作・構成

楽譜例示

SAMPLE

2/2...二分音符を1拍とした二拍子

1年
p.36

② 音楽文化の理解が深まります

きく
鑑賞

共通性と固有性

各学年に設けた「何が同じで、何が違う」では、さまざまな音楽について共通性と固有性を考えます。特徴を理解するための書き込み欄を設けたり、「話し合おう」を設定したりしました。学習の実態に応じて、柔軟に取り扱ってください。

1年では、八木節(日本)、ホーミー(モンゴル)、「魔王」(ドイツリート)を比較し、特徴や着目したことを自分の言葉で整理していきます。

何が同じで、何が違う?
声の出し方から、音楽の特徴をみていこう。

八木節



ホーミー



魔王



声の出し方や発音に着目して、声の音色(おんしょく)や表現している旋律の特徴、自分が着目したことを比較しながら整理してみよう。

	八木節 ▶ p.54	ホーミー ▶ p.55	魔王 ▶ p.44
声の音色の特徴			
表現している旋律の特徴			
自分が着目したこと			

話し合おう それぞれの音楽の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。

鹿踊(ししおどり)や獅子舞、能で用いられる楽器についても比較しながら整理してみよう。



鹿踊 ▶ p.54



獅子舞 ▶ p.55



能「宗茂」 ▶ p.55

1年
p.60

	八木節 ▶ p.54	ホーミー ▶ p.55	魔王 ▶ p.44
声の音色の特徴			
表現している旋律の特徴			
自分が着目したこと			

音楽的な見方・考え方を活用して、自分なりの考えをまとめます

何が同じで、何が違う?
用いられる楽器から、音楽の特徴をみていこう。

雅楽に用いられる楽器



オーケストラに用いられる楽器



音が鳴る仕組みが同じ楽器をそれぞれから選び、他の楽器との重ね方・組み合わせ方、リズムや旋律の特徴、自分が着目したことを比較しながら整理してみよう。

雅楽「越天楽」 ▶ p.40		交響曲第5番 ▶ p.34
	選んだ楽器	
	他の楽器との重ね方・組み合わせ方	
	リズムや旋律の特徴	
	自分が着目したこと	

話し合おう それぞれの音楽の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。

鹿踊(ししおどり)や獅子舞、能で用いられる楽器についても比較しながら整理してみよう。



鹿踊 ▶ p.46



獅子舞 ▶ p.47



能「宗茂」 ▶ p.59

2・3上
p.56

2・3上では、雅楽「越天楽」(平調)と「交響曲第5番」(ベートーヴェン)で用いる楽器を比較し、さまざま特徴についてまとめます。

何が同じで、何が違う?
舞台芸術の表現から、音楽の特徴をみていこう。

歌舞伎「勘定帳」



オペラ「アイーダ」



それぞれの舞台芸術の表現を鑑賞して、音楽の役割やその特徴、自分が着目したことを比較しながら整理してみよう。

歌舞伎「勘定帳」 ▶ p.38		オペラ「アイーダ」 ▶ p.32
	音楽の役割	
	音楽の特徴	
	自分が着目したこと	

話し合おう それぞれの音楽の役割や特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして、気がついたことを友達に紹介しよう。

文楽やバレエ、ジジュー(京劇)についても比較しながら整理してみよう。



文楽「義経千本桜」 ▶ p.42



バレエ「白鳥の湖」 ▶ p.37



ジジュー「白雲記」 ▶ p.52

2・3下
p.50

2・3下では、1600年ごろに生まれた舞台芸術、歌舞伎とオペラを鑑賞し、音楽の役割や特徴、自分が着目した点を比較します。

③ 音楽を愛好する心情を育てます

うたう
歌唱

わが国の自然や四季の美しさ

わが国の自然や四季，文化，そして日本語の美しさを味わえる歌唱共通教材は，楽曲ゆかりの地を巻頭から美しいビジュアルで表しました。

1年

夏の思い出
日本の歌 みんなの歌
江間章子 作詞 / 中田喜直 作曲 p.14

花
日本の歌 みんなの歌
武島羽衣 作詞 / 滝 廉太郎 作曲
口絵②, p.12

ふっと目に浮かんだのが水芭蕉がいつ
ばい咲いている風景でした。(群馬県)
沼田から片道へ行って、片道の戸倉の入り
口で水芭蕉がいつばい咲いている風景
を見たことがあったんです。それはもう戦
争が終わる一年二、三か月前のことで
だと思えます。とにかく果てから果てまで
水芭蕉が咲いていて、何も書けなかつ
た時にふっと浮かび上がった、水芭蕉
を書いてみよう。(江間 章子)
「唱歌のふるさと」から

この曲は、昭和24年、NHKのラジオ歌
謡として作曲し、放送されました。
日本語は、節拍が大切なので、言葉
を生かし、正しい日本語に聞こえるように作
曲しました。(中田 喜直)

尾瀬ヶ原の位置

新潟県 群馬県

三県にまたがる日本有数の温泉地帯

「夏の思い出」尾瀬ヶ原

歌唱共通教材 掲載学年

- 1年 「夏の思い出」「赤とんぼ」
- 2・3年上 「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」
- 2・3年下 「花」「荒城の月」

2・3下

「浜辺の歌」辻堂海岸(神奈川県) 「早春賦」農具川(長野県)

浜辺の歌
日本の歌 みんなの歌
林 古漢 作詞 / 成田為三 作曲 p.14

早春賦
日本の歌 みんなの歌
吉丸一昌 作詞 / 中田 喜直 作曲 p.16

「浜辺の歌」について成田為三は昭和16年から作
曲の教授をしていた東京音楽学校(現在の国
立音楽大学)での弟子に次のように語ったという。
「この曲は正しく歌われていません。みんなテンポ
が速いんですよ。もっとサラリと歌うといひです。」
「浜辺の歌」の成田為三から

辻堂海岸(神奈川県)
林 古漢は、幼少期を過ごした辻堂海岸をイメージして、
「浜辺の歌」を作詞したといわれています。

「早春賦」が生まれた背景
吉丸一昌は、1912年(明治45年・大正元年)から
1914年(大正3年)までの間に、全曲75曲の「新作曲
歌」を発表。すべて吉丸の作詞で、作曲は東京音楽学校
(現在の東京芸術大学)卒業の若手を起用した。「早春
賦」はその第三集(1913年2月刊)に掲載されている。
出典「望郷の歌 吉丸一昌」吉田 登

2・3上

花
日本の歌 みんなの歌
武島羽衣 作詞 / 滝 廉太郎 作曲
口絵②, p.12

明治時代の隅田川の様子。
「花」は1900年(明治33年)に作曲されました。
武島羽衣自筆の「花」の歌碑(隅田公園)。

春のうららの隅田川
のぼりくたりの船人が
權のしずくも花と散る
ながめを何にたとうべき

見ずやあけぼの露浴びて
われにも言う桜木を
見ずやぐれ手をのべて
われさしまねく青柳を

錦おりなす長堤に
くるればのぼるおぼろ月
げに一刻も千金の
ながめを何にたとうべき

「花」
現在と明治時代の
隅田川(東京都)

③ 音楽を愛好する心情を育てます

学習資料

ワイドなビジュアル図鑑

鑑賞教材の学習資料(巻末)は、折込を利用した3ページ構成でワイドなビジュアル図鑑です。多様な情報を見渡せ、学ぶ楽しさが広がってゆきます。

郷土の民謡に用いられる楽器 / 弦楽アンサンブルに用いられる楽器 / 日本とアジアのことは、楽器の紹介にとどまらず、日本・西洋・アジアの音楽文化までを俯瞰することができます。

郷土の民謡に用いられる楽器

弾きもの

- 津軽三味線**
東北地方に伝わる三味線で、民謡の伴奏の他に独奏や重奏などで演奏することがあります。琴が太く、ばちを弦に打ちつけるようにして弾くなどの特徴があります。
- 三味**
箏や琴などで伝統的に使われてきた楽器で、中国の三弦に由来します。

吹きもの

- 篠笛**
篠笛は日本の民俗芸能とともに誕生し発展してきた楽器と考えられています。篠竹という竹を切り取って作るので篠笛と呼ばれます。
- 尺八**
尺八は竹で作られ、最もよく使われる長さが一尺八寸(約54cm)であったことから尺八と呼ばれるようになりました。

打ちもの

- 締太鼓**
両面の皮をひもで締め合う構造です。皮の張り具合を調整して、演奏種目や曲などに合った音の高さや音色(おんしょく)にします。
- 鉦**
鈴り鉦やチャンキとも呼ばれ、右手に持った角榎木(鹿の角を先端に付けた打ち棒)で打ちます。
- 長胴太鼓**
皮を胴に緊で留めた構造の太鼓で、大太鼓や新打ち太鼓とも呼ばれます。

弦楽アンサンブルに用いられる楽器

ヴァイオリン
ヴァイオリンは弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)の中で最も小さく、最も高い音の出せる楽器です。

ヴィオラ
ヴィオラは基本的にはヴァイオリンと同じ構造ですが、ヴィオラのほうが大きく、より低い音に調弦します。

チェロ

コントラバス
コントラバスはオーケストラの低音域を受

日本とアジアのこと

日本

- 箏(こと)**
箏は、箏楽に用いる楽器として伝わってきたものが始まりで、時代や作曲家によってさまざまな発展をしてきました。弦の数は13本が一般的ですが、現在では17本、20本、25本などの弦をもつ箏もあります。
- グージュン(古箏)**
中国に伝わる弦楽器です。現在はナイロンを巻いた金属製の21本の弦を用いることが多く、両手に付けた爪で演奏します。
- カヤグム(伽倻琴)**
朝鮮半島に伝わる弦楽器で、12本の鋼糸の弦を爪で弾くことで演奏します。

2・3下巻末

1年巻末

さまざまな舞台芸術では、日本・西洋・アジアのさまざまな舞台芸術を一望できます。

さまざまな舞台芸術

Opera オペラ
p.32-36



Ballet バレエ
p.36-37
2・3上 p.32



Bunraku 文楽
p.42-43



Noh 能
2・3上 p.59-63



Beijing Opera 京劇
p.52



Kabuki 歌舞伎
p.38-41
p.44-45



Musical ミュージカル
p.52



学習を支える「まなびリンク」

「まなびリンク」は学習に役立つ情報を集めた教育出版のウェブサイトです。教科書の内容にリンクした動画、音声、ワークシートをご活用いただけます。



学習に役立つ情報を、ウェブサイトで見ることができます。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh/ongaku/1.html>

情報の種類 …見る …聴く …記録する

目次の右ページ下方にあるURLまたは二次元バーコードから、アクセスしてご利用いただけます。

- | 1年 | 2・3年上 | 2・3年下 |
|---|---|--|
| 巻頭「夏の思い出」
p.6～, p.32～, p.38～ ACTIVE!
p.63「日本とアジアをつなぐ音」 | 巻頭「浜辺の歌」「早春賦」
p.6～, p.26～, p.30～ ACTIVE!
p.44 唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう
p.46 郷土の音楽や芸能 | 巻頭「花」
p.6～, p.22～, p.26～ ACTIVE!
p.38 歌舞伎「勸進帳」
p.44 長唄「勸進帳」をうたおう |

例

④～⑥ごとに、感じ取った曲想や表現を工夫したい点を下の表にまとめてみよう。また、指揮の振り方についても考えてみよう。

感じ取った曲想について

ACTIVE! ワークシートを表示し印刷することができます。



越天楽 (打ちものと筆葉の唱歌) / 作曲者不詳 / 伊野重博 採譜・構成

鞆鼓 (左)	太鼓 (右)	鉦	拍
チーラー			1 2 3 4
□ ロラルロ	○	△	1 2 3 4
□ タイアル	●	△△	1 2 3 4
ラアア		△	1 2 3 4
□ チーラファ		△	1 2 3 4
□ テエリレ	○	△	1 2 3 4
□ ター	●	△△	1 2 3

2・3上 p.45

雅楽師による模範演奏の視聴ができます。



2・3上 巻頭

日本の歌 みんなの歌 **浜辺の歌**

林 古溪 作詞 / 成田為三 作曲

そうしゅん **早春賦**

楽曲ゆかりの地や模範演奏の視聴ができます。



歌唱教材曲一覧

主な歌唱教材曲 (試聴)



充実した歌唱教材のラインアップです。「歌のアルバム」に収めた教材にも学びのポイント「表現してみよう」を示しています。

- | 1年 | 2・3年上 | 2・3年下 |
|---|--|---|
| 主要教材
「青空へのぼろう」
「夏の思い出」
「明日を信じて」
「あの丘の向こうから」
「ソーラン節」

比べてみよう
「アニー・ローリー」
「赤とんぼ」
「飛び立とう君の空へ」
「かりぼし切り歌」

深めてみよう
「希望という名の花を」
「この道」
「谷茶前」

歌のアルバム
「海が明けるよ」
「夢は大空を駆ける」
「君と歩こう」
「心をこめて」
「ほらね、」
全校合唱「故郷」(同声二部) | 主要教材
「生命が羽ばたくとき」
「You Can Fly!」
「浜辺の歌」
「そよぐ風の中で」
「この星のどこかで」

比べてみよう
「語りあおう」
「早春賦」

深めてみよう
「大切なもの」
「花の街」
「時計台の鐘」

歌のアルバム
「カントリー・ロード」
「雪の降る街を」
「HEIWAの鐘」
「ほたるの光」
全校合唱「故郷」(混声三部) | 主要教材
「旅立ちの日に」
「花」
「時を越えて」

比べてみよう
「帰れソレントへ」
「荒城の月」

深めてみよう
「Top of the World」
「荒城の月」(山田耕柞 補作編曲)
「椰子の実」

歌のアルバム
「記念日～希望のバトン」
「アメージング・グレイス」
「火の山の子守歌」
「世界がひとつの家族のように」
「仰げば尊し」
「さようなら」
「大地讃頌」
全校合唱「故郷」(混声四部) |

表現してみよう

歌のアルバム「ほらね、」

1年 p.76

歌のアルバム

ほらね、

Lively (生き生きと) ♩=86 くらい

かわは かぜと かたりあっているよ

ほらね ひ とりじゃないー

ほらね ぼくらはーひ とりじゃないー

ほらね ひ とりじゃないー

ほらね ぼくらはーひ とりじゃないー

それでも かなしいひがあっ

SAMPLE

「表現してみよう」強弱の変化や転調の効果を生かして、合わせて歌おう。





学びのユニットは、1年と2・3上は10ユニット、2・3下は8ユニットで構成しています。
地域や学校の実態、生徒の発達段階と学習に応じて、多様な構成が検討できるように配慮しました。

学びのユニット一覧 学びのユニットは「教師用指導書 解説編」(本紙p.40をご参照ください)で展開しています。

「中学音楽 1 音楽のおくりもの」では、A～Jまでの10の学びのユニットで学習することで、学習指導要領を適切に取り扱えるようにしました。各ユニットは、領域・分野ごとに構成し、学習評価までを見通した計画的な学びが展開できます。

ユニット A 歌唱
無理のない自然な声の出し方で歌おう
青空へのぼろう (p.6)
アニー・ローリー (p.10)
希望という名の花 (p.56)

ユニット B 創作
日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう
p.32

ユニット C 鑑賞
弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう
「春」第1楽章 (p.38)
「秋」第1楽章 (p.43)
弦楽合奏のセレナード 第1楽章 (p.61)

ユニット D 歌唱
日本の歌 みんなの歌
曲の形式を生かして歌おう
夏の思い出 (p.14)
赤とんぼ (p.16)
この道 (p.58)

ユニット E 創作
全体の構成を考えながら音楽をつくろう
p.34

ユニット F 鑑賞
歌曲の形式の違いを鑑賞しよう
魔王 (シューベルト) (p.44)
魔王 (ライヒャルト) (p.45)
野ばら (シューベルト) (p.62)

ユニット G 歌唱
音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう
明日を信じて (p.20)
飛び立とう君の空へ (p.22)

ユニット H 鑑賞
箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう
六段の調 (p.48)
鹿の遠音 (p.51)
日本とアジアをつなぐ音 (p.63)

ユニット I 歌唱
民謡の特徴を捉えてふざわしい声で歌おう
ソーラン節 (p.28)
かりぼし切り歌 (p.29)
谷茶前 (p.59)

ユニット J 鑑賞
わが国やアジア地域の多様な声による表現を鑑賞しよう
日本とアジアのさまざまな表現 (p.54)

例 1年

学びのユニットについて

学びのユニット全指導計画(全学年)

1年10ユニットと学習指導要領との関係

ユニット	ユニット名 (題材名)	A 表現 (1) 歌唱				A 表現 (3) 創作				B 鑑賞				教材 ◇…主教材 …その他、選択可能な教材(例)
		ア	イ	ウ		ア	イ	ウ		ア	イ	ウ		
A	無理のない自然な声の出し方で歌おう	○	○	○										◇青空へのぼろう アニー・ローリー ・希望という名の花 ・Let's Sing 歌うための準備
B	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう				○	○	○							◇日本語の抑揚を活用する旋律づくり
C	弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう							○			○			◇「春」第1楽章 「秋」第1楽章 ・弦楽合奏のセレナード
D	曲の形式を生かして歌おう	○	○	○										◇夏の思い出 赤とんぼ ・この道 ・Let's Sing 言葉の発声について
E	全体の構成を考えながら音楽をつくろう				○	○	○							◇擬声語や擬態語を活用する音楽づくり ・Let's Try 全体の構成を理解して表現を楽しもう
F	歌曲の形式の違いを鑑賞しよう								○			○		◇魔王(シューベルト) 魔王(ライヒャルト) ・野ばら(シューベルト)
G	音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう	○	○	○										◇明日を信じて 飛び立とう君の空へ ・Let's Sing 変声と混声合唱 ・Let's Try 指揮を試みよう
H	箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう										○		○	◇六段の調 鹿の遠音 ・日本とアジアをつなぐ音 ・Let's Try 箏(こと)を弾いてみよう
I	民謡の特徴を捉えてふざわしい声で歌おう	○	○	○										◇ソーラン節 かりぼし切り歌 ・谷茶前
J	わが国やアジア地域の多様な声による表現を鑑賞しよう										○		○	◇日本とアジアの声によるさまざまな表現

年間指導計画

1年を例に、学びのユニットの配当時数(例)、教材、取り扱う主な〔共通事項〕、指導事項、学びのユニットの目標などを一覧に示しました。

学びのユニット モデルプラン 1年



SDGs
〈持続可能な開発目標〉
 (→本紙p.39参照)
との関連



目標4
質の高い教育をみんなに
学びのユニット(カリキュラム全体)



目標5
ジェンダー平等を実現しよう
歌うための準備, 変声と混声合唱



目標10
人や国の不平等をなくそう
日本とアジアをつなぐ音,
日本とアジアの声によるさまざまな表現



目標16
平和と公正をすべての人に
「明日を信じて」「飛び立とう君の空へ」

年間指導計画
 (全学年)



期	ユニット	配当時数(例)	ユニット名(題材名)	教材(◇…主要教材)	ユニットで取り扱う主な〔共通事項〕	取り扱う指導事項	ユニットの目標(題材の目標)	その他、選択可能な教材(例)
一学期	前期	A	無理のない自然な声の出し方で歌おう	◇青空へのぼろう アニメ・ローリー 校歌	音色, 旋律, 強弱, 構成	表現・歌唱 イ-(イ) ウ-(ア) ア	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付ける。 歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する。 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	希望という名の花を Let's Sing 歌うための準備 ←……………
		器楽リ A	タンギングや左手の奏法を身に付けよう	▷リコーダー ◇オーラ・リー ◇メリーさんの羊 リズム de ゴー しりとりの歌 チャイニーズ・ダンス 喜びの歌	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	表現・器楽 イ-(イ) ウ-(ア) ア	リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運びなどの技能を身に付ける。 器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する。 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	
		B	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	◇日本語の抑揚を活用する旋律づくり	音色, リズム, 旋律, 構成	表現・創作 イ-(ア) ウ ア	音のつながり方の特徴について, 表したいイメージと関わらせて理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な, 課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 創作表現に関わるイ-(ア)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫する。 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	
	後期	C	弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう	◇「春」第1楽章 「秋」第1楽章	音色, 旋律, 強弱, 形式, 構成	鑑賞 イ-(ア) ア-(ア)	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 鑑賞に関わるイ-(ア)の知識を得たり生かしたりしながら, 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	弦楽合奏のセレナード
		D	曲の形式を生かして歌おう	◇夏の思い出 赤とんぼ	リズム, 旋律, 強弱, 形式, 構成	表現・歌唱 イ-(ア) ウ-(ア) ア	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付ける。 歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する。 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	この道 Let's Sing 言葉の発声について
		E	構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくろう	◇擬声語や擬態語を活用する音楽づくり	音色, リズム, テクスチャ, 構成	表現・創作 イ-(イ) ウ ア	音素材の特徴及び音の重なり方や反復, 変化, 対照などの構成上の特徴について, 表したいイメージと関わらせて理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な, 課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 創作表現に関わるイ-(イ)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫する。 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	Let's Try 全体の構成を理解して表現を楽しもう
二学期	前期	F	歌曲の形式の違いを鑑賞しよう	◇魔王(シューベルト) 魔王(ライヒャルト)	旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	鑑賞 イ-(イ) ア-(イ)	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史, 他の芸術との関わりについて理解する。 鑑賞に関わるイ-(イ)の知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	野ばら(シューベルト)
		器楽リ B	右手の運指や低音の奏法を身に付けよう	▷リコーダー ◇ロング・ロング・アゴー ◇ソナタ K.331 うみ アメージング・グレイス	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	表現・器楽 イ-(イ) ウ-(イ) ア	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解する。創意工夫を生かし, 他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する。 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	
		G	音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう	◇明日を信じて 飛び立とう君の空へ	旋律, テクスチャ, 強弱, 構成	表現・歌唱 イ-(ア) ウ-(イ) ア	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かし, 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する。 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	Let's Sing 変声と混声合唱 ←…………… Let's Try 指揮をしてみよう
	後期	H	箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	◇六段の調 鹿の遠音	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 構成	鑑賞 イ-(ウ) ア-(ウ)	我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と, その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 鑑賞に関わるイ-(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら, 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	日本とアジアをつなぐ音 ←…………… Let's Try 箏(こと)を弾いてみよう
		器楽箏 A	箏の基本的な奏法を身に付けよう	▷箏 ◇さくらさくら 練習曲1 練習曲2	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	表現・器楽 イ-(イ) ウ-(ア) ア	箏の音色と奏法との関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や楽譜の読み方などの技能を身に付ける。 器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する。 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	
		I	民謡の特徴を捉えてふざわしい声で歌おう	◇ソーラン節 かりぼし切り歌	音色, リズム, 旋律, テクスチャ, 構成	表現・歌唱 イ-(イ) ウ-(イ) ア	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 創意工夫を生かし, 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する。 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	谷茶前
三学期	J	わが国やアジア地域の多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう	◇日本とアジアの声によるさまざまな表現 ・天台声明・八木節 ・江差追分・ケチャ ・ホーミー・布農(ブヌン)族の合唱	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 構成	鑑賞 イ-(ウ) ア-(イ)	我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と, その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 鑑賞に関わるイ-(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	10 Let's Try	
	器楽箏	箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	▷箏 ◇ひらいたひらいた ◇さくらさくら たこたこあがれ	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成	表現・器楽 イ-(イ) ウ-(ア) ア	箏の音色と奏法との関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまゆりや音の出し方, 運びなどの技能を身に付ける。 器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する。 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。		



1年を例に、各ユニットで取り扱う指導事項、評価の観点、評価規準を一覧に示しました。

モデルプラン 1年

ユニット	ユニット名(題材名)	取り扱う指導事項	評価の観点	ユニット(題材)の評価規準	
A	無理のない自然な声の出方で歌おう	表現・歌唱	イ-(イ) ウ-(ア)	知識・技能	声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
器楽 A	タンギングや左手の運指を身に付けよう	表現・器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	知識・技能	リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	器楽表現に関わる知識(リコーダーの音色と奏法との関わり、曲想と音楽の構造との関わり)や技能(タンギングや左手の運指など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
B	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	表現・創作	イ-(ア) ウ	知識・技能	言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴を理解している。歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	創作表現に関わる知識(言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴)や技能(歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
C	弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう	鑑賞	イ-(ア)	知識・技能	曲想とリトルネロ形式やソネットとの関わりについて理解している。
			ア-(ア)	思考力・判断力・表現力	鑑賞に関わる知識(曲想とリトルネロ形式やソネットとの関わり)を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
				主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
D	曲の形式を生かして歌おう	表現・歌唱	イ-(ア) ウ-(ア)	知識・技能	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音などを身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
E	構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくろう	表現・創作	イ-(イ) ウ	知識・技能	言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴を理解している。テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	創作表現に関わる知識(言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴)や技能(テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
F	歌曲の形式の違いを鑑賞しよう	鑑賞	イ-(イ)	知識・技能	歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わりについて理解している。
			ア-(イ)	思考力・判断力・表現力	鑑賞に関わる知識(歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わり)を得たり生かしたりしながら、作曲当時の歌曲の意味や形式の違いについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
				主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

ユニット	ユニット名(題材名)	取り扱う指導事項	評価の観点	ユニット(題材)の評価規準	
器楽 B	右手の運指や低音の奏法を身に付けよう	表現・器楽	イ-(イ) ウ-(イ)	知識・技能	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解している。創意工夫を生かして、他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	器楽表現に関わる知識(アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わり)や技能(他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
G	音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう	表現・歌唱	イ-(ア) ウ-(イ)	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	歌唱表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
H	箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	鑑賞	イ-(ア)	知識・技能	箏や尺八の音色や用いる音階の響き、音楽の構造などの特徴とその多様性について理解している。
			ア-(ウ)	思考力・判断力・表現力	鑑賞に関わる知識(箏や尺八の音色や用いる音階の響き、音楽の構造などの特徴とその多様性)を得たり生かしたりしながら、箏曲と尺八曲との共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
				主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
器楽 A	箏の基本的な奏法を身に付けよう	表現・器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	知識・技能	箏の音色と奏法との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	器楽表現に関わる知識(箏の音色と奏法との関わり)や技能(右手の使い方や縦譜の読み方など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
I	民謡の特徴を捉えてふざかしい声で歌おう	表現・歌唱	イ-(イ) ウ-(イ)	知識・技能	声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わりについて理解している。囃しことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	歌唱表現に関わる知識(声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わり)や技能(囃しことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
J	わが国やアジア地域の多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう	鑑賞	イ-(ウ)	知識・技能	我が国やアジア地域の声による表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。
			ア-(イ)	思考力・判断力・表現力	鑑賞に関わる知識(我が国やアジア地域の歌唱表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴いている。
				主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
器楽 篠笛	篠笛の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	表現・器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	知識・技能	篠笛の音色と奏法との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や音の出し方、運指などの技能を身に付けている。
			ア	思考力・判断力・表現力	器楽表現に関わる知識(篠笛の音色と奏法との関わり)や技能(かまえ方や音の出し方、運指など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
				主体的に学習に取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

① 学習の見通しがもてます

主体的・対話的で深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、進んで学び合う器楽の活動が展開できるように工夫しました。



これから取り組む楽器と、関連して学習する楽器のイメージを生かした表紙です。強固な紙質の用紙を用いたしっかりとしたつくりで、3年間安心してご使用いただけます。

学びのねらい スタート

リコーダーの音色(おんしよく)と奏法との関わりを理解したり、タンギングや左手を使った基本的な奏法を身につけたりしながら表現しよう。

タンギング

タンギングとは、息を舌で止めたり(図A)、出したり(図B)する基本的な奏法です。適切なタンギングを用いると、生き生きとした表現が可能になります。リコーダーのタンギングは、「tu」や「du」といった発音を使います。図Cのように音域や音のイメージによって使い分けるとよいでしょう。

一つの音で吹いてみよう

リズム de ゴー

タンギングに注意して、♩=69から♩=92ぐらいまでのさまざまな速度で演奏しよう。

自由な速さで
Cmaj7 Am7 Fmaj7 G6 金子健治 作曲

学びのポイント

器楽 p.6

▶「リズム de ゴー」を音を変えて演奏を楽しもう。

パターン1
アルトの音で吹いてみよう。
ソプラノの音で吹いてみよう。

パターン2
アルトの音で吹いてみよう。
ソプラノの音で吹いてみよう。

左手で吹こう①

しりとり歌

三つの音で左手の運指を身につけよう。

自由な速さで
G G/F# Em Em/D Am/C Am7/G D7 金子健治 作曲

まとめの曲

自由な速さで
C C/B Am Am/G Dm7/F Dm7/E D7 G7 金子健治 作曲

学びのねらい

リコーダーの音色と奏法との関わりを理解したり、タンギングや左手を使った基本的な奏法を身につけたりしながら表現しよう。

学びのポイント

教材▶リズム de ゴー

- タンギングに注意して、♩=69から♩=92ぐらいまでのさまざまな速度で演奏しよう。
- 「リズム de ゴー」を音を変えて演奏を楽しもう。

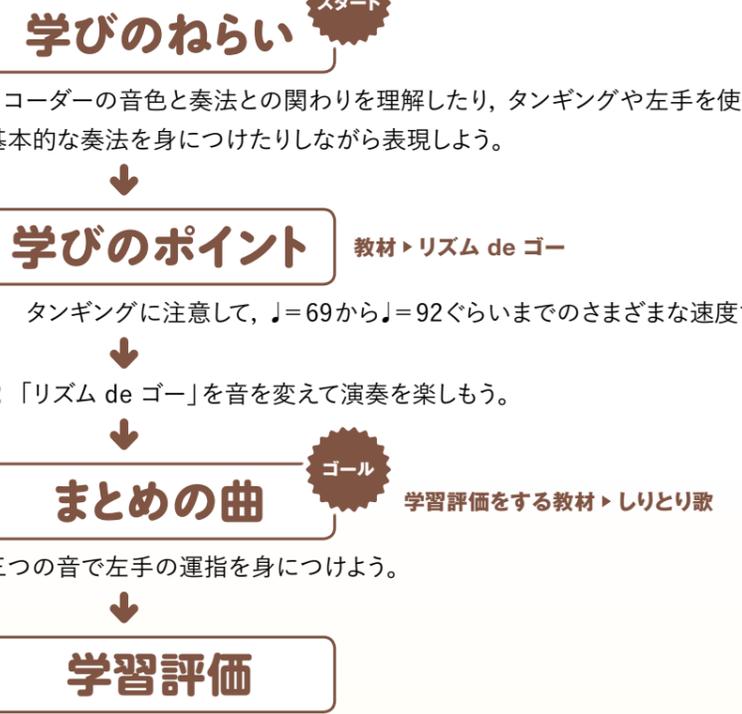
まとめの曲

学習評価をする教材▶しりとり歌

三つの音で左手の運指を身につけよう。

学習評価

学びのねらいをスタート、まとめの曲をゴールと設定し、見開きごとに学習を見通せる構成にしました。



リコーダーには「カノン1, 2, 3」を掲載しました。それぞれ1年, 2年, 3年での取り組みを想定しています。

カノン1

三つのグループに分かれ、初めのグループが[2][3]に来たら順番に加わります。何度も繰り返して演奏できますが、曲を終えるときは、初めのグループが合図をしてそれぞれ★で終わります。

自由な速さで
金子健治 作曲

② 音楽文化の理解が深まります

くちしょうが
口唱歌(唱歌) /
深い学び〈共通性と固有性〉

学習指導要領「第3指導計画の作成と内容の取扱い」、配慮事項2(6)を受け、和楽器を扱う教材には口唱歌(唱歌)を表記した他「唱歌について」ページを新設しました。

器楽 p.23

しょうが 唱歌について

「祭囃子」(・p.22)に表記された「チヒヤイヒヤイトロ」や「天テレツクツク」といった言葉は唱歌と呼ばれ、楽器の音をまねたものです。唱歌は、旋律や奏法を覚えたり伝えたりするために用います。

唱歌の例

尺八 p.25

箏(こと) p.40

三味線 p.49

太鼓 p.59

器楽 p.23

しょうが 唱歌について

「さくらさくら」は箏と三味線では唱歌が全く異なることがわかります。

器楽 p.22

「祭囃子」(篠笛と締太鼓の合奏)

まつりばやし 祭囃子

篠笛と締太鼓の合奏

篠笛

締太鼓

祭囃子の唱歌(・p.23)で天、テ、レ、ケと表されている音符は強く打ちます。ツ、クと表されている音符は弱く打ちます。ストと表されている音符は打つ動作のみで、音は出しません。

音の高さは八本調子の場合

「何が同じで、何が違う?」のページでは、吹く楽器と弾く楽器について共通性と固有性を考え、特徴を理解することができるように書き込み欄を設けたり、自分の考えなどをまとめ「話し合おう」によって協働的な活動が展開できるように工夫しました。こうした学習活動は、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成を促し、深い学びにつながります。

器楽 p.26

何が同じで、何が違う? PART-1 吹く楽器について

タンギングと言葉、タンギングと響きの関係について、発展的に考察するページにつながります。

まなびリンク

何が同じで、何が違う? PART-1

吹く楽器の音の出し方から、楽器の特徴をみていこう。

音の出る仕組みや楽器のかまえ方に着目して、音色(おんしょく)や旋律の吹き方の特徴、自分が着目したことなどを比較しながら整理してみよう。

リコーダー ブランデンブルク協奏曲第4番から 第1楽章 ① > J.S.バッハ作曲

篠笛 長唄「越後獅子」① > 九世 岸屋六左衛門 作曲

尺八 尺八曲「鹿の遠音」① > 作曲家不詳

	リコーダー・p.4-	篠笛・p.18-	尺八
音の出る仕組みや楽器のかまえ方			
音色や旋律の吹き方の特徴			
自分が着目したこと			

話し合おう それぞれの楽器の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。

器楽 p.52

何が同じで、何が違う? PART-2 弾く楽器について

弾く楽器の音の出し方から、楽器の特徴をみていこう。

音の出る仕組みや楽器のかまえ方に着目して、音色(おんしょく)や弾き方の特徴、自分が着目したことなどを比較しながら整理してみよう。

ギター アランブラ(アルハンブラ)の思い出 ①、フランシスコ・タレガ作曲

箏 さくら変奏曲 ① > 宮城道雄 作曲

三味線 長唄「勤進帳」から 寄せの合方 ① > 四世 岸屋六三郎 作曲

	ギター・p.28-	箏・p.36-	三味線・p.44-
音の出る仕組みや楽器のかまえ方			
音色や弾き方の特徴			
自分が着目したこと			

話し合おう それぞれの楽器の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。

音楽的な見方・考え方を活用して、自分なりの考えをまとめます

3 音楽を愛好する心情を育てます

見やすい資料とメッセージ

巻頭には、これから演奏する楽器や、比較鑑賞をする楽器などを見開きいっぱいに示しました。口絵には、箏と篠笛の家元からのメッセージを掲載、「感謝と謙虚の心をいつまでも忘れない」「他の人の音に耳を傾ける」といった学びの、その先へ通じる、読みごたえのある内容です。

各打楽器についてさらに詳しい解説ページにつながります。



With My Heart 心をこめて 中学生のみなさんへ
音楽はメッセージ

楽器のお稽古では技術を磨くことはもちろんですが、私は「礼に始まり礼に終わる」といった礼儀についても、気がついたことは言うようにしています。例えば先生や仲間に対してきちんと挨拶ができるということは、あたりまえですが大事なことです。服装についても「自分が着たいから」ではなく、相手がどう思うかを考えて、その場に合ったものを選ぶ必要があります。

「実るほど頭の下がる稲穂かな」という故事があります。稲は実が熟すにつれて穂が垂れ下がることから「人は学問や品性が深まるにつれて、かえって謙虚になる」ということを表しています。演奏家は自分一人で上手になったわけではありません。先生の指導もそうですが、家族の協力とか、いろいろなことがあって今があるのです。感謝と謙虚の心をいつまでも忘れないようにしたいですね。

箏 (こと) 深海さとみ

楽器を自分の思うように演奏することは、決してやさしいことではありません。例えば篠笛の場合、周りの人と同じように吹いているつもりでも、自分だけ音が出ない、そんなことがあります。楽器に慣れるためには、ある程度時間がかかります。人の声や考え方が普通通りに、笛の音色(おんしやく)も一人一人異なります。同じ人でも、そのときによって音色が変わります。また、音には、いろいろな思いをこめることができます。一つ一つの音を丁寧に吹いて、よく味わってみてください。そして、他の人の音に耳を傾けることも忘れないようにしましょう。笛は「うた」です。気持ちがそのまま表れます。あせらずじっくりつき合えば、あなたを励ましてくれたり喜んでいたりと、そんな親友のような存在になってくれると思います。

篠笛 福原 徹

器楽巻頭

さまざまな音色(おんしやく)や響きと奏法

世界にはいろいろな楽器があり、楽器の音色や響きを生かした音楽文化があります。基本的な演奏の仕方身につけ、表現を工夫してみよう!

吹く楽器の仲間たち p.27
パーンフリー(インドの横笛)とタブラー(パーヤーン(インドの太鼓)の演奏)

三味線 p.44
三味線(右) 松本 悠三、長瀬(左) 神楽 隆幸

お囃子 p.51, p.92
太鼓(左) 藤月 太志丸、小鼓(右) 藤月 美加子

リコーダー p.4
8種類のリコーダーによる合奏曲 楽家 ブロックフレッチャー・アンサンブル; (左から) クラリネット、ソプラノ、ソプラノ、アルト、テノール、バス、グレートバス、コントラバス

打楽器 p.98
ボンゴ(右) 小田もゆる、コンガ(中央) 伊藤 真、ティンパレス(左) 和田 雅

「ブランデンブルク協奏曲 第4番」 p.17
エイジ・オブ・インライトメント管弦楽団

弾く楽器の仲間たち p.53
アラバアン・ダルシマーの演奏

器楽巻末

打楽器

小太鼓(スネアドラム)
小太鼓はヘッド(鼓面)の中央付近を打つとしっかりとした明確な音が出ます。

大太鼓(バスドラム)
大太鼓は前へ出した右足に重心を寄せ、ヘッドの中央付近を打ちます。

ボンゴ **コンガ** **カホン**

ボンゴとコンガは小さいほうが左、大きいほうが右になるようにかまえます。

カホンはスペイン語で「木の箱」を意味します。楽器にまたがって打面やフチの部分を手で打ちます。
*ペルー式カホンの場合

リコーダー運指表

●閉じる ○開ける ◊サミング(裏穴をほんの少し開ける) I、II…かえ指 B…バロック式(イギリス式) G…ジャーマン式(ドイツ式)

ソプラノは実音より1オクターブ低く、テノールは実音で記述する。

指	ソプラノ	テノール	小	中	大	人さし	親
右手	●	●	●	●	●	●	●
左手	●	●	●	●	●	●	●

リコーダーの変遷

ルネサンスのリコーダー (アルト、ソプラノ)
ルネサンス時代の16世紀頃に使われていたリコーダーは、ジョイント(・p.4)がなく、全体が一本につながっていました。

バロックのリコーダー (アルト、ソプラノ)
ジョイントのあるリコーダーは、バロック時代の17世紀後半から使われるようになりました。ジョイントによりピッチの調整が可能になりました(・p.5)。

資料(巻末)は折込を利用した3ページ構成で、リコーダーの運指表とギター&キーボードコード表を大きく見やすく表した他、五つの打楽器(小太鼓、大太鼓、ボンゴ、コンガ、カホン)を図説しました。学ぶ楽しさは巻末からも広がります。



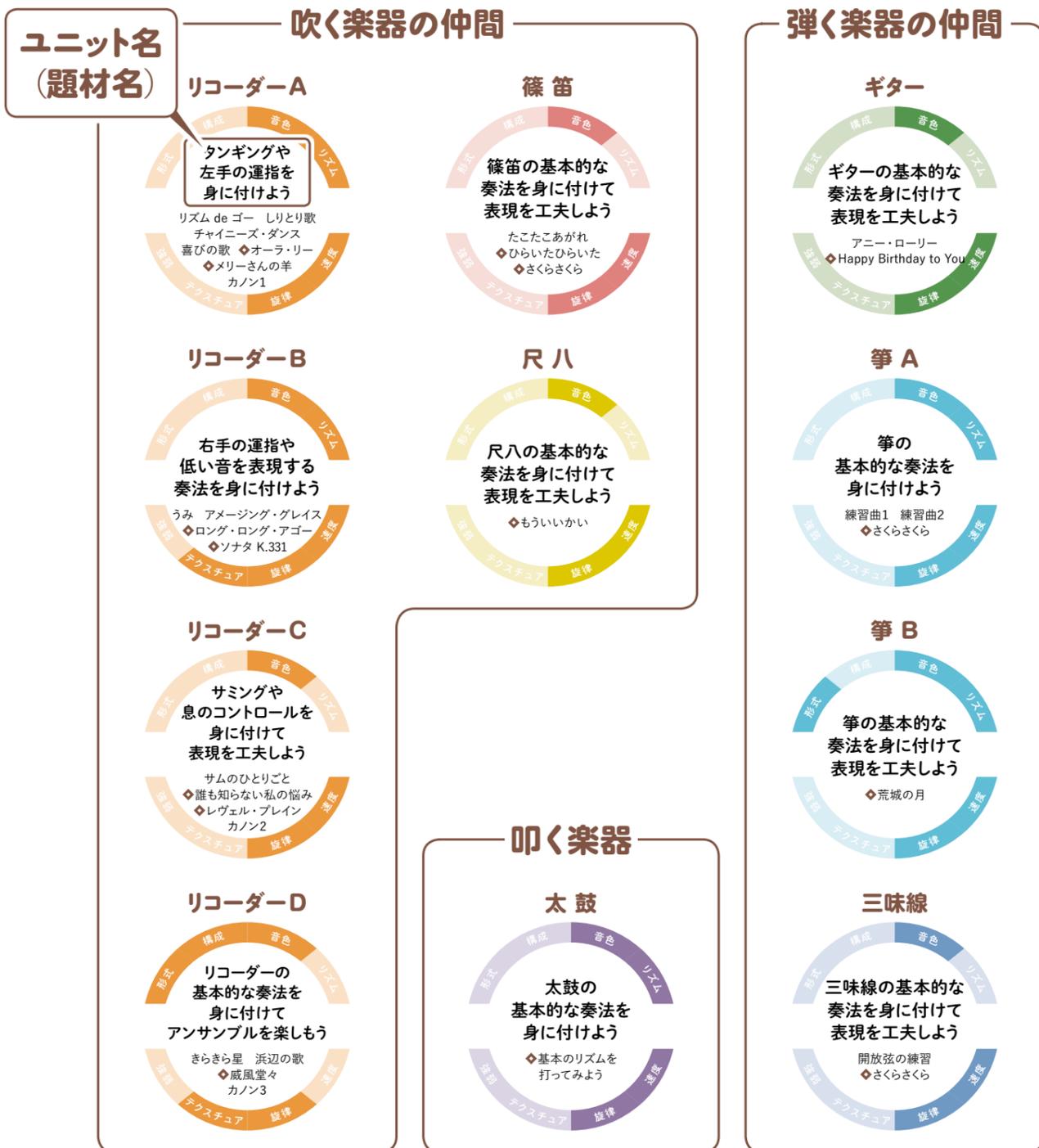
中学器楽の**学びのユニット**は、リコーダー4ユニット、篠笛、尺八、ギター、三味線、太鼓が各1ユニット、
箏は2ユニットの計11ユニットで構成しました。地域や学校の実態、生徒の発達段階と学習に応じて、
多様な構成が検討できるように配慮しました。

学びのユニット一覧 学びのユニットは「教師用指導書 解説編」で展開しています。

中学器楽では、リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏(こと)、三味線、太鼓、の各楽器による
学びのユニットで学習することができます。これらは、学習指導要領の適切な取り扱いと、
学習評価までを見通した計画的な学び、を展開することができます。



学びのユニット
全指導計画(器楽)



ユニット	ユニット名(題材名)	A 表現(2) 器楽				使用教材【例】 ◇…主要教材 …関連する教材
		ア	イ	ウ	エ	
リコーダー A	タンギングや左手の運指を身に付けよう	○	○	○	○	・リズム de ゴー ・しりとり歌 ・チャイニーズ・ダンス ・喜びの歌 ◇オーラ・リー ◇メリーさんの羊 ・カノン1
リコーダー B	右手の運指や低い音を表現する奏法を身に付けよう	○	○	○	○	・うみ ・アメージング・グレイス ◇ロング・ロング・アゴー ◇ソナタ K.331
リコーダー C	サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう	○	○	○	○	・サムのひとつごと ◇誰も知らない私の悩み ◇レヴェル・ブレイン ・カノン2 優しき流れ
リコーダー D	リコーダーの基本的な奏法を身に付けてアンサンブルを楽しもう	○	○	○	○	・きらきら星 ・浜辺の歌 ◇威風堂々 ・カノン3 うぐいすのカノン
篠笛	篠笛の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	○	○	○	○	・たこたこあがれ ◇ひらいたひらいた ◇さくらさくら
尺八	尺八の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	○	○	○	○	◇もういいかい
ギター	ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	○	○	○	○	・アニー・ローリー ◇Happy Birthday to You
箏 A	箏の基本的な奏法を身に付けよう	○	○	○	○	・練習曲1 ・練習曲2 ◇さくらさくら
箏 B	箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	○	○	○	○	◇荒城の月
三味線	三味線の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	○	○	○	○	・開放弦の練習 ◇さくらさくら
太鼓	太鼓の基本的な奏法を身に付けよう	○	○	○	○	◇基本のリズムを打ってみよう

器楽の11ユニットと学習指導要領との関係

上記の各ユニットにおける指導事項の取扱いは、「使用教材【例】」と関連します。
教材を追加することで、指導事項の扱いを変更することが可能です。



中学器楽の、各ユニットで取り扱う指導事項、目標、配当時数(例)、評価の観点、評価規準を一覧に示しました。

リコーダー、篠笛、尺八の例

ユニット	取り扱う指導事項	ユニットの目標(題材の目標)	配当時数(例)	評価の観点	ユニットの評価規準(観点ごと)	
リコーダー A	表現・ 器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付ける。	3	知識・技能	リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付けている。
		ア	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する。		思考力・判断力・ 表現力	器楽表現に関わる知識(リコーダーの音色と奏法との関わり、曲想と音楽の構造との関わり)や 技能(タンギングや左手の運指など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
			器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。		主体的に学習に 取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
リコーダー B	表現・ 器楽	イ-(イ) ウ-(イ)	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解する。 創意工夫を生かし、他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。	3	知識・技能	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かし、他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。
		ア	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する。		思考力・判断力・ 表現力	器楽表現に関わる知識(アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わり)や 技能(他の声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する)を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫している。
			器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。		主体的に学習に 取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
リコーダー C	表現・ 器楽	イ-(ア) ウ-(ア)	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付ける。	3	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けている。
		ア	器楽表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。		思考力・判断力・ 表現力	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(息のコントロールやサミングなど)を 得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
			器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。		主体的に学習に 取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
リコーダー D	表現・ 器楽	イ-(ア) ウ-(イ)	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 創意工夫を生かし、全体の響きを聴きながら合わせて演奏する技能を身に付ける。	3	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きを聴きながら合わせて演奏する技能を身に付けている。
		ア	器楽表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。		思考力・判断力・ 表現力	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や 技能(全体の響きを聴きながら合わせて演奏する)を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫している。
			器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。		主体的に学習に 取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
篠 笛	表現・ 器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	篠笛の音色と奏法との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や音の出し方、運指などの技能を身に付ける。	3	知識・技能	篠笛の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するためのかまえ方や音の出し方、運指などの技能を身に付けている。
		ア	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する。		思考力・判断力・ 表現力	器楽表現に関わる知識(篠笛の音色と奏法との関わり)や技能(かまえ方や音の出し方、運指など)を 得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
			器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。		主体的に学習に 取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
尺 八	表現・ 器楽	イ-(イ) ウ-(ア)	尺八の音色と奏法との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するための音の出し方や運指などの技能を身に付ける。	2	知識・技能	尺八の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための音の出し方や運指などの技能を身に付けている。
		ア	器楽表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する。		思考力・判断力・ 表現力	器楽表現に関わる知識(尺八の音色と奏法との関わり)や技能(音の出し方や運指など)を 得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
			器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。		主体的に学習に 取り組む態度	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

安心して学ぶために

— 特別支援の観点とユニバーサルデザインの取り組み —

特別支援の観点からの紙面構成

埼玉大学の名越斉子教授に特別支援教育の観点から1年、2・3上下、器楽の、全てのページを監修していただきました。

ユニバーサルデザインの取り組み

より多くの生徒が学習に集中できる教科書になるように、レイアウト、表現方法、色づかいを工夫しました。

歌詞のまとまりやフレーズを生かして歌おう。

歌詞の内容を味わい、音楽の構成を理解して表現を工夫しよう。

歌詞の内容を味わい、強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。

旋律のまとまりを捉えて、音域に応じた発声で歌おう。

平成28年版
UDフォント
使用箇所

令和3年版
UDフォント
使用箇所

UD
FONT

学習上の要所といえる「学びのポイント」には、よりいっそうわかりやすく読みましがいをしにくいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用しました(上の例参照)。また、文字の可読性を高める工夫を全ページでしています。

'19

色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザイン(CUD)を取り入れることで、全ての教科書がNPO法人CUDOの認証を受けています。

教科書の全ての内容を一望できる目次は、CUDにより索引機能が向上しました。またCUDにとどまらず、情報が迅速に伝わる工夫を随所に施しています。

平成28年版
1年目次

令和3年版
1年目次

SDGs〈持続可能な開発目標〉に向けて

持続可能な開発目標は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標です。(2015年9月の国連サミットで全会一致で採択されました。)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4 質の高い教育をみんなに

私たちのくらしと音楽

～アウトリーチ・教育活動・音楽療法について～

アウトリーチ

ふだん、コンサート活動にふれる機会が少ない地域や人たちのところに、演奏者が向いて音楽を楽しんでもらう活動を「アウトリーチ(英語で「手を伸ばす」という意味)」と呼んでいます。教育や福祉の場に「出前演奏」を提供するような活動です。

「宮城県被災地支援 音楽療法」の小学校で行われたワークショップ。

SAMPLE

「世界がひとつの家族のように」(二番歌詞抜粋)

悲しいニュースを聴く、
何かが出来るわけじゃ
空に星がきれいだね
世界がひとつの家族のよ
もしもなれたらどうだろ
遠くに暮らす君のこと

どうしてなのかと考える
だけど心は動いてる
が揺れているね

10 人や国の不平等をなくそう

2・3下「私たちのくらしと音楽」は、4 質の高い教育をみんなと関連のある教材です。

2・3下「世界がひとつの家族のように」は、10 人や国の不平等をなくそうと関連のある教材です。

本紙p.24もご参照ください。

教師用指導書

解説編

- 中学音楽では、〈学びのユニットについて〉〈年間指導計画（モデルプラン）〉〈評価計画（モデルプラン）〉〈赤刷〉〈学びのユニット〉〈教材解説〉〈資料 特別支援教育〉を、中学器楽は、〈学びのユニットについて〉〈指導計画・評価計画〉〈学びのユニットの特徴〉〈学びのユニット〉〈赤刷〉〈楽器解説〉を、詳しく丁寧に扱っています。

指導者用デジタル教科書(教材)

NEW!

指導者用デジタル教科書を指導書の中に位置づけ、よりお求めやすいいたします。
教科書紙面の他、コンテンツも多数収め、授業の可能性をひらきます。



楽譜連動再生…再生部分がハイライト(着色)表示されます。音源は範唱やカラピアノなど、利用場面に合わせたものを添えます。



創作ツール…題材にそった創作を可能にするツールを適宜用意します。また、ツールバーにも、音色や長さを指定して活動を促すツールをおきます。



動画…教科書で扱うリコーダーや箏などの範奏映像が簡単に視聴できます。



ワークシート…表示やプリントができます。全ユニットのワークシートをご用意しております。

伴奏編

- 中学音楽
歌唱教材の本伴奏、簡易伴奏、参考楽譜を掲載しました。必要に応じて各種の伴奏譜を用いながら、授業を進めることができます。指導書独自の参考教材も掲載してあります。
- 中学器楽
教材曲をピアノ伴奏付きで掲載しました。各練習曲や「名曲旋律集」などは、生徒の意欲を喚起するようにアレンジを工夫しています。



1年「青空へのほろう」本伴奏

CD

- 中学音楽
範唱・伴奏CD → 1年…4CD, 2・3年上…4CD, 2・3年下…4CD
歌唱教材の範唱及び伴奏を全曲収録しています。生徒が曲のイメージをよりの確につかめるように配慮しました。
- 合唱パート別練習用CD → 1年…3CD, 2・3年上…3CD, 2・3年下…3CD
合唱教材を、各パート別に収録しています。各パートを理解するためのサンプル音源として、また効率よく練習するためのツールとしてお使いいただけます。
- 鑑賞CD → 1年…4CD, 2・3年上…4CD, 2・3年下…4CD
鑑賞教材及び教科書に掲載している比較聴取教材などを多数収録しています。
- 中学器楽
範奏CD → 1～3年用…2CD
各種楽器の奏法や基礎練習、及び重奏・合奏の範奏をもれなく収録しています。生徒が曲のイメージをよりの確につかめるように配慮しました。

→ 解説編・指導者用デジタル教科書(教材)・伴奏編・CDをセットにした大変便利な製品をご用意しております。

教師用指導書・デジタル教科書等のご紹介

教師用指導書 解説編 (「赤刷」「学びのユニット(ユニットの指導と評価の具体)」「教材解説」)

「教師用指導書解説編」には、教科書の縮刷りに指導のポイントを朱書きで示した「赤刷」、各ユニットの指導と評価の具体を丁寧に説明した「学びのユニット」、表現教材における活動の事例や鑑賞教材における詳しい楽曲解説などをまとめた「教材解説」が掲載されています。

「赤刷」
「学びのユニット」
「教材解説」
紙面の例(抜粋)

中学音楽 ① 音楽のおくりもの 教師用指導書 解説編	学びのユニット について	年間指導計画 (モデルプラン)	評価計画 (モデルプラン)	赤 刷	学びのユニット	教材解説	資料 特別支援教育								
<p>▶ ユニットの指導と評価の具体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学習内容</th> <th>学習活動・留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> リトルネッロ部やエピソード部を確認しながら聴取させ、気がついたことなどメモを取りながら鑑賞させる。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>リンク⑥の活用</p> <p>楽曲全体の構成を聴き取ったり、自分の考えをまとめたりするためのワークシートを準備しています。</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの内容を発表し合い、他者の考えを参考にしながらまとめの鑑賞をしてワークシートを整える。 「春」第1楽章をもう一度鑑賞させる。 </td> </tr> </tbody> </table>								学習内容	学習活動・留意点		<ul style="list-style-type: none"> リトルネッロ部やエピソード部を確認しながら聴取させ、気がついたことなどメモを取りながら鑑賞させる。 		<p>リンク⑥の活用</p> <p>楽曲全体の構成を聴き取ったり、自分の考えをまとめたりするためのワークシートを準備しています。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの内容を発表し合い、他者の考えを参考にしながらまとめの鑑賞をしてワークシートを整える。 「春」第1楽章をもう一度鑑賞させる。
学習内容	学習活動・留意点														
	<ul style="list-style-type: none"> リトルネッロ部やエピソード部を確認しながら聴取させ、気がついたことなどメモを取りながら鑑賞させる。 														
	<p>リンク⑥の活用</p> <p>楽曲全体の構成を聴き取ったり、自分の考えをまとめたりするためのワークシートを準備しています。</p>														
	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの内容を発表し合い、他者の考えを参考にしながらまとめの鑑賞をしてワークシートを整える。 「春」第1楽章をもう一度鑑賞させる。 														

評価の具体	①
知識・技能	「春」の曲想とリトルネッロ形式による音楽の構造の関わりを理解しているか、教科書の記録や 2 の学習で記述したワークシートの内容から評価する。
思考・判断・表現	「春」に対する評価とその根拠について自分なりに考え音楽のよさや美しさを味わって聴いているか、2 の学習で記述したワークシートの内容や交流時の発表内容から評価する。
主体的に学習に取り組む態度	「春」のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいるか、1～2 の学習への取組みの様子を観察し評価する。

3 「秋」第1楽章の曲想とリトルネッロ形式との関わりを理解しながら鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> 「秋」のソネットを教科書で確認する。 <ul style="list-style-type: none"> イタリアの秋の様子を表していることを確認する。 リトルネッロ部を聴取し、エピソード部をはさんで5回反復していることを理解し、気がついたことや面白いと思ったことをワークシートに記録する。 ワークシートの内容を発表し合い、他者の考えを参考にしながら再度鑑賞をして、ワークシートを整える。 ワークシートの内容を交流することで、他者の聴き方や考え方を参考にさせる。
--	---

全体の構成を考えながら音楽をつくらう

創作の活動という、五線紙上に西洋音楽の仕組みに則って音符や休符を並べて「曲」をつくる、いわゆる作曲を頭に描く指導者が多いと思うが、学習指導要領で示されている「創作」の活動内容はもっと幅広いものである。

この事例は、生徒の身近で聞くことのできる「生活音」や「自然音」、「動物などの鳴き声」、あるいは「様子を表す言葉」などのいわゆるオノマトペを使って、複数人で「言葉」(オノマトペ)を重ねたり、つなげたり、構成を工夫して音楽をつくる活動である。

五線譜や音符・休符を用いないので、読譜や記譜に対し苦手意識を持っている生徒にも活動に意欲的に取り組むことができる。

オノマトペとは擬声語と呼ばれるもので、「擬音語」(物が発する音や声をまねて文字で描写したもの)と「擬態語」(状態や心情など、音のないものを音によって表す言葉)に分けられる。

はじめに 活動①に入る前に、オノマトペについて説明する必要がある。さらに、教科書の「はじめに」の例の余白に、一人5～6個程度考えてから記入させる。次に、それらを発表しクラス全員で共有させると、次の活動の時間の短縮につなげることができる。

「工夫の例」アの「ポッポー」だけ一定の速度で表現させ、他の言葉は自由に速度で好き勝手に表現させる。

「重ね方の例」

言葉と言葉が偶然重なったり、上手い具合にズレたりしたときの重なり面白さを感じ取らせることが重要なこととなる。

活動③ テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくらう。始め方と終わり方も工夫しよう。

ここで、テーマを膨らませて簡単なストーリーを考えさせるわけであるが、教科書の例のように3部構成でも良いし、4コママンガのように起承転結の4部構成でも良い。ただし、あまり複雑にならないよう指導すること

学習内容	学習活動・留意点
4 「春」第1楽章と「秋」第1楽章の共通性や固有性を整理し、それぞれについて自分なりの価値意識を考え、発表・交流する。	<ul style="list-style-type: none"> リトルネッロ形式による音楽の構造を捉えながら、「春」第1楽章と「秋」第1楽章を聴取る。 「似ているところ(共通性)」と「違っているところ(固有性)」について気がついたことや聴き取ったことを発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 発表した内容を板書などで整理し、学級全体で共有できるようにする。 「春」第1楽章と「秋」第1楽章のそれぞれについて自分なりに考えた魅力やよさなどをワークシートにまとめる。

評価の具体	②
知識・技能	曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関わりについて理解しているか、教科書の記録や 3 の学習で記述したワークシートの内容から評価する。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識(曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関わり)を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いているか、2や4の学習で記述したワークシートの内容や交流時の発表内容から評価する。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいるか、1～4の学習への取組みの様子を観察し評価する。

深めてみよう	
「弦楽合奏のセレナード」第1楽章について、これまでの学習で学んだ知識を活用して、よさや美しさを味わいながら聴く。	<ul style="list-style-type: none"> 弦楽オーケストラやソナタ形式による近・現代の作品としての特徴を聴き取り、音楽の構造を捉え、音楽のよさや美しさを味わいながら鑑賞する。

何が同じで、何が違う?

声の出し方から、音楽の特徴をみていこう。

	八木節 p.54	ホーミー p.55
声の音色の特徴	声の音色、声の出し方(発声)や発音の仕方、言葉の有無	声の音色、声の出し方(発声)や発音の仕方、言葉の有無
表現している旋律の特徴	旋律の動き方、姿勢、音程や調性、形式や構成、言語の有無	旋律の動き方、姿勢、音程や調性、形式や構成、言語の有無
自分が着目したこと	声と楽器の合わせ方、衣装や楽器と音楽との関係、作詞・演奏される場、歌詞の内容や音楽が生まれた背景などに着目	声と楽器の合わせ方、衣装や楽器と音楽との関係、作詞・演奏される場、歌詞の内容や音楽が生まれた背景などに着目

それぞれの音楽の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみて、そして気がついたことを交流し紹介しよう。

考えたり紹介したりする際、実際に声の出し方をまねたり旋律の一部を歌ったりして表現活動を促わせ、言語のみの活動にならないように配慮する

天台声 朝やケチャ、布農(ブナン)族の合唱についても比較しながら整理してみよう

合唱曲やポピュラーミュージックのライブ演奏など、必要に応じて生徒の興味関心のある声の要素も加えてみる

近・現代の弦楽合奏の響きを聴き取り、楽曲全体の構成について考えながら聴き深めます。 見方・考え方のヒント

学習者用デジタル教科書

何度でも書いたり消したりでき、考えの共有に役立ちます。

● 三つの基本機能

〈拡大〉〈ページ送り戻り〉〈ペン・消しゴム〉の三つの基本機能がいつでも表示されるので、すぐに使えます。

● まなびリンクへのアクセス

約120の「まなびリンク」にページから直接アクセスできます。

● 学習支援機能

- ・自動音声読み上げ
- ・総ルビ(ふりがな)
- ・分かち書き
- ・リフロー(たて書き/よこ書き変更, 書体変更, 文字サイズ変更, 色変更, 行間変更)



拡大教科書

視覚障害のある生徒などが見やすく使いやすいように、通常の教科書をもとに、文字を大きくしたりレイアウトをし直したりして再編した教科書です。

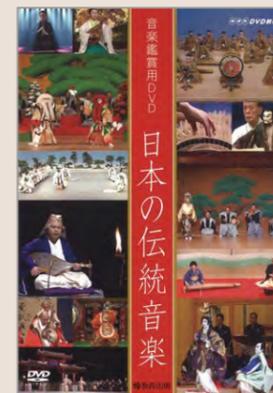
教材品

● 音楽鑑賞用DVD

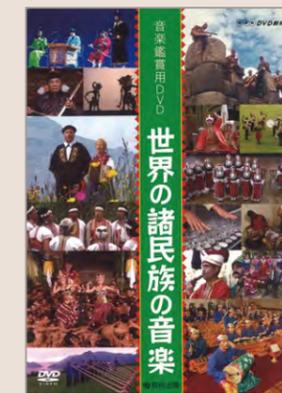
鑑賞教材を中心とした映像資料集「中学校音楽鑑賞用教材集」、能、狂言、歌舞伎などの映像をコンパクトにまとめた「日本の伝統音楽」、世界各地のさまざまな声や楽器の映像を集めた「世界の諸民族の音楽」、管弦打楽器の特徴、リハーサル風景、裏方の仕事など、オーケストラの魅力が満載の「オーケストラ入門」など。

● 曲集

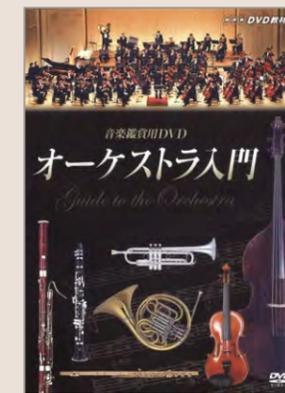
混声合唱曲集「music jam SENIOR 1~4」「J-CHORUS」、西澤健治作品集「With you ありがとう」「風と恋人」、川崎絵都夫作品集「夢の風」、同声・女声合唱の楽しみ「花はいろ」(川上弥栄子 編)、「ケチャ・パーティ」(橋本龍雄 編・著) 他



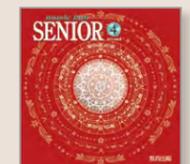
日本の伝統音楽



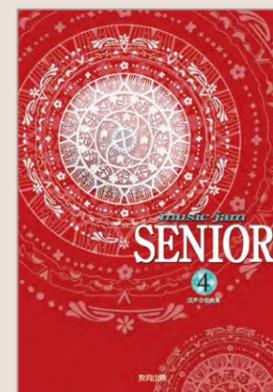
世界の諸民族の音楽



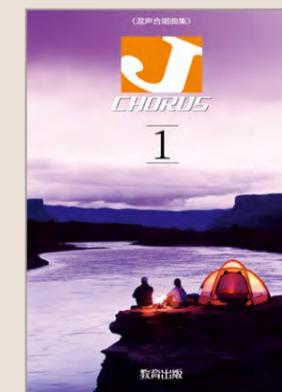
オーケストラ入門



曲集に掲載されている楽曲の範唱とカラピアノを収録したCDもご用意しております。



music jam SENIOR 4



J-CHORUS



With you ありがとう

教育出版（17教出）
中学音楽 教科書番号

1年
701

2・3上
801

2・3下
802

中学器楽 教科書番号

器楽
751

新しい教科書の
特設サイトは
こちらから！



教育出版ホームページからも
アクセスできます。

著作者の紹介

音楽

監修 新実 徳英 作曲家

編集・執筆 五十嵐優子 神奈川県秦野市立西中学校教諭
伊野 義博 新潟大学教授
井上 洋一 愛媛大学教授
小塩さとみ 宮城教育大学教授
金谷 昌治 福島大学教授
木村 次宏 福岡教育大学教授
新山王政和 愛知教育大学教授
中西 紗織 北海道教育大学准教授
野本由紀夫 玉川大学教授
尾藤 弥生 北海道教育大学教授
松浦 孝憲 元徳島県徳島市立論田小学校校長
松下 耕 作曲家
森保 尚美 広島女学院大学准教授
和田 崇 東京音楽大学教授

教育出版株式会社編集局

校閲 加藤富美子 東京学芸大学名誉教授

特別支援教育監修 名越 斉子 埼玉大学教授

SDGsとESDに関する校閲 手島 利夫 前東京都江東区立八名川小学校校長

器楽

監修 新実 徳英 作曲家

編集・執筆 金子 健治 リコーダー奏者
川崎絵都夫 作曲家
福原 徹 邦楽囃子笛方
和田 崇 東京音楽大学教授

教育出版株式会社編集局

特別支援教育監修 名越 斉子 埼玉大学教授

SDGsとESDに関する校閲 手島 利夫 前東京都江東区立八名川小学校校長

本社・支社・営業所

本社	〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館	TEL. 03-5579-6278	FAX. 03-5579-6444
北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北3条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F	TEL. 011-231-3445	FAX. 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F	TEL. 0138-51-0886	FAX. 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F	TEL. 022-227-0391	FAX. 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F	TEL. 052-262-0821	FAX. 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F	TEL. 06-6261-9221	FAX. 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F	TEL. 082-249-6033	FAX. 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F	TEL. 089-943-7193	FAX. 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室	TEL. 092-433-5100	FAX. 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F	TEL. 098-859-1411	FAX. 098-859-1411

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。